

[シラス]

1. 経年経過及び平成16年10～11月期の漁況の経過

バッチ網漁業の漁獲量は、西薩海域では平成11年の6,060トンを一ピークに減少傾向を示しており、平成14年は1,106トン、平成15年は低調であった前年並みの937トンでした。志布志湾海域では平成12年の1,407トンを一ピークに減少傾向を示しており、平成14年は396トンまで減少したが、平成15年は842トンまで増加した。

今期の西薩海域では、カタクチイワシシラス主体で945トンの水揚げで、前年の326%、平年の168%でした。志布志湾海域では、カタクチシラス主体で320トンの水揚げで、前年の215%、平年の105%でした。

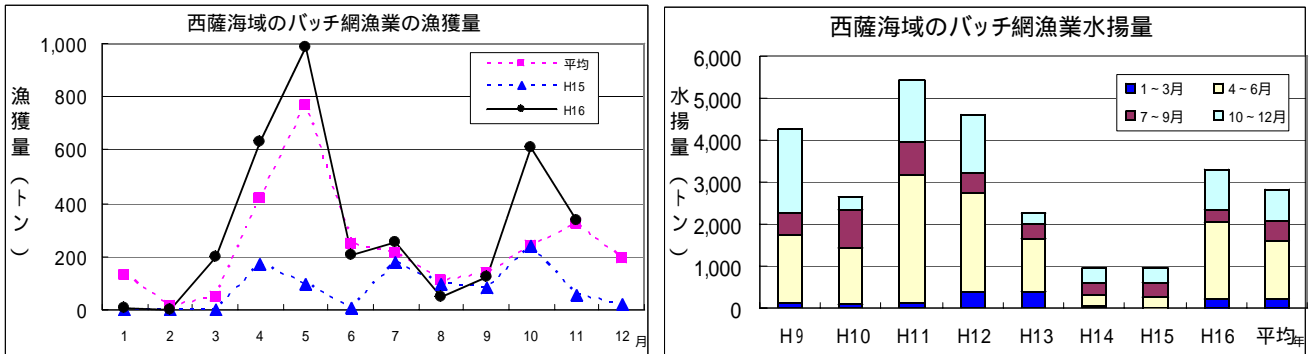


図 西薩海域バッチ網漁業の漁獲量変化(4漁協計)

平年値は過去5年(平成11～15年)の平均値、平成16年11月までの水揚量を使用。

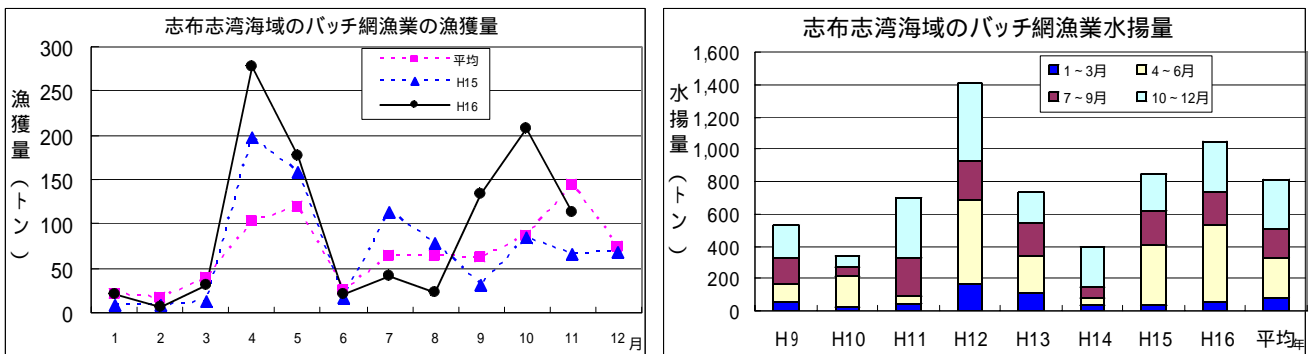


図 志布志湾海域バッチ網漁業の漁獲量変化(2漁協計)

平年値は過去5年(平成11～15年)の平均値、平成16年11月までの水揚量を使用。